

# 物干アーム (ビルトイン収納) ・ M-BAD X-55 ・ 取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。



**注意：正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読み下さい。**  
お読みになった後は、取り出しやすい場所へ保管して下さい。

## 使用上のご注意

竿掛け・物干し竿に決してぶら下がらないで下さい。

- 竿掛け・物干し竿に思わぬ負荷が掛かりますと、破損する場合があります。予期せぬケガにつながりますので、とくに子供のいるご家庭ではご注意ください。

必ず物干し竿をご使用下さい。

- ロープを渡して使用すると竿掛けに横方向の力が掛かり、破損、製品寿命低下につながります。

洗濯物乾燥用途以外のご使用はご遠慮下さい。

- 洗濯物以外の重量物を掛けると、破損・製品寿命低下につながります。

アームの角度調整 (下図参照)

- 角度調整を行う際は、角度ごとに固定された事を確認して下さい。
- アームを下げるときは軽く斜め上前側に持ち上げて作動して下さい。
- 作動時は指狭み等に注意して下さい。

物干しにご使用なされない時はアームを収納して下さい。

- ベランダ等避難通路に該当する場所へ取り付けられた場合は、アーム及び物干し竿が通行の妨げにならないようご注意ください。

物干し竿脱落防止に、必ず市販の竿抜け防止ストッパーをご使用下さい。

- 強風時は特にご注意ください。

日常のお手入れとメンテナンスについて

- アルミ製品を腐食から守るために、柔らかい布・スポンジ等で年に数回水洗いと、から拭きをして下さい。(金属ブラシ・スチールワール・粗いヤスリ等は使用しないで下さい)
- 汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を使用し、水拭き・から拭きして下さい。
- 取付部がゆるんできた時は取付ネジを締め直して下さい。

## 高さ、角度の使い方

<p><b>上段使用</b> 布団やシートも床に擦る心配がありません。平均身長女性の頭にあたらない、アーム高さです。</p> <p><b>下段使用</b> 斜め45°にすれば適度な高さで日当たり良好です。</p> <p><b>下段水平時</b> アームを水平にすれば外から洗濯物が見えにくくなります。</p> <p><b>収納</b> 竿を通したまま操作・収納ができます。</p>	<p><b>高さ調整機能</b> 3段階に高さ調整できます。</p> <p><b>上げるとき</b> 本体ケースをカチッと音がするまで持ち上げて下さい。所定位置でロックが掛かります。</p> <p><b>下げるとき</b> 本体ケースを少し持ち上げながら安全ストッパーを手前に引き静かに下げして下さい。ストッパーを離して所定の位置でロックして下さい。ロック状態で安全ストッパーを無理に引かないで下さい。破損の恐れがあります。</p>	<p><b>アーム角度調整機能</b> 斜め45°、水平に角度調整できます。</p> <p>斜め45°</p> <p>水平</p> <p>竿を通したままでも角度調整できます。</p>
--	--	---

<p>物干のアームは必ず先端を持って下さい。指詰めがあります。</p>	<p>ぶら下がり危険!</p>	<p>ロープ掛け禁止。 必ずもの干し竿をご使用下さい。</p> <p>メンテナンス時はスチールワール、ヤスリ等は使用しないで下さい。</p>
-------------------------------------	-----------------	--

# 工事店様用：物干アーム（ビルトイン収納）・M-BAD X-55・取付説明書

**警告：**この表示は誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

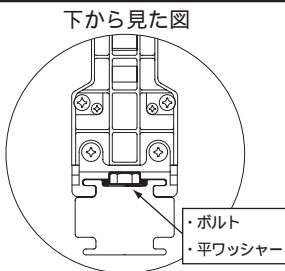
## 取付上のご注意（工事店様用）

施工場所、取付高さの規定を必ず守って下さい。

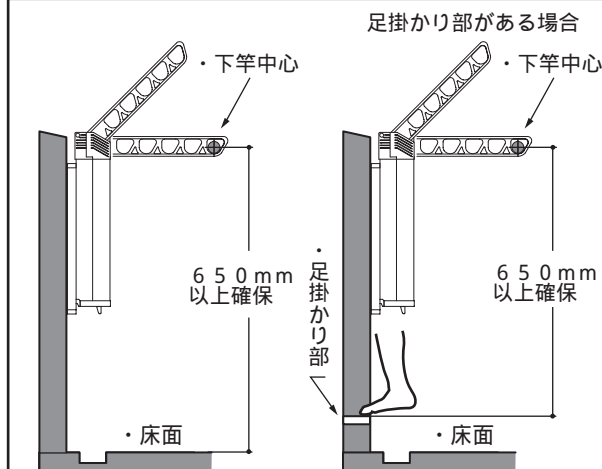
- ・場所：ベランダ、バルコニーの外側には絶対に施工しないで下さい。
- ・高さ：手摺り乗り越え危険防止のため、使用時における下竿中心が、床面より650mm以上になるように、お取り付け下さい。650mm以下の位置に施工されると、子供の足掛けになり、転落の恐れがあります。（公営住宅建設基準）

## 取付ボルト類について

- ・M8の六角ボルト又はコーチスクリューをご使用下さい。
- ・スプリングワッシャーは使用せず平ワッシャーのみとして下さい。
- ・上記以外のサイズで取付ると本体ケースに接触する場合があります。



## 重要：施工場所、取付高さの規定について

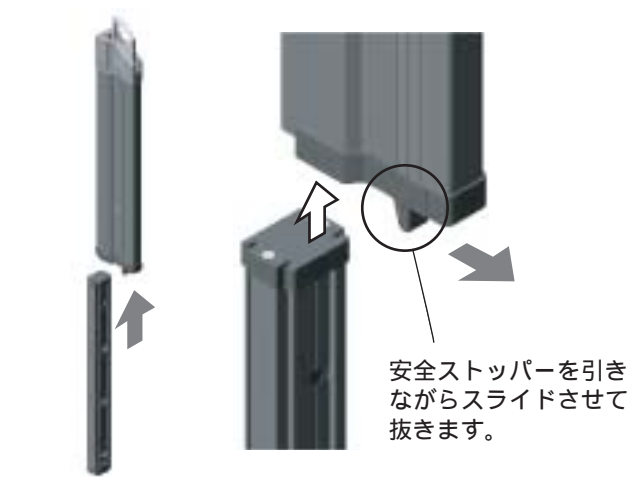


## 取付手順

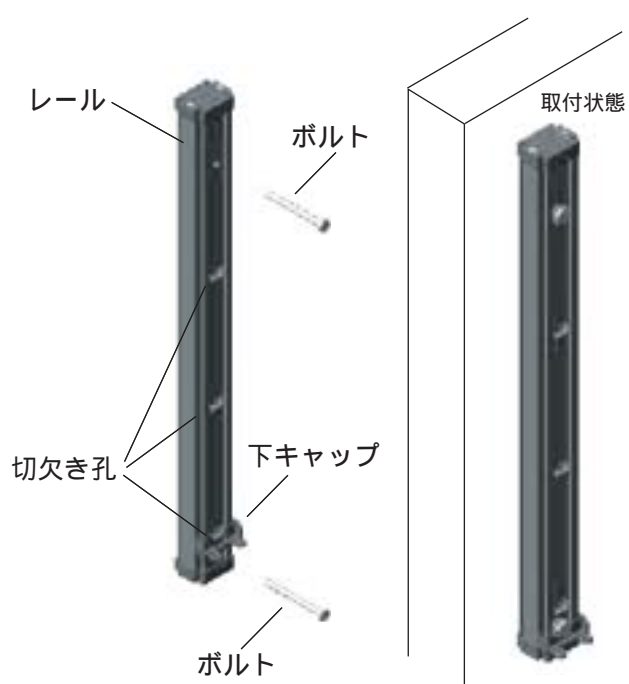
**1** 本体ケース下面の下キャップを取り外します。（ビス2箇所）外したビスは、再度使用します。



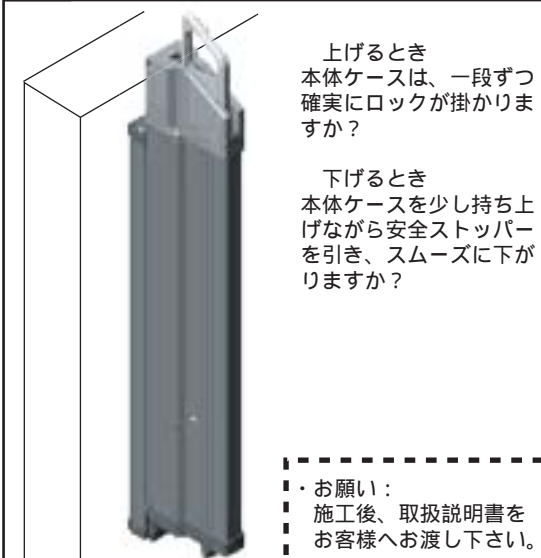
**2** 安全ストッパーを引きながらゆっくりスライドさせて、レールから本体ケースを抜いて下さい。



**3** レールをボルトで固定します。  
注意：レールは切欠き孔のある方が下位置です。



**4** 取り付け完了。施工後、作動確認を行って下さい。



手順1、手順2と逆の手順で、本体ケースをレールに取付ます。